

券売機の I C 対応への改造及び投排雪保守用車の整備について

平成 30 年 12 月 20 日
あいの風とやま鉄道株

来年度以降において、更なる利便性の向上や安全対策の充実を図るため、次の事項を検討しており、その準備に入りたい。

記

1 券売機の I C 対応への改造 (2019 (平成31) 年度)

I C 定期券を購入する場合、窓口の営業時間内に手書きで申し込む必要がある。また、I C カードについても窓口の営業時間内に購入する必要があるため、利用者からは改善の要望も出されている。このため、既設券売機を I C 対応となるよう改造し、利便性の向上を図るもの。

・対象機器

当社の 20 駅全駅における券売機 31 台

・改造により対応可能となる機能

新規の I C 通勤定期券、継続の I C 通勤・通学定期券の発行、I C カードの発行、I C カードへのチャージ、磁気定期券から I C 定期券への発行替え 等

・概算経費

70 百万円

2 投排雪保守用車の整備 (2020 (平成32) 年度) …H30. 6. 14 利用促進協議会で説明済

現在、運用しているラッセル車が製造から 44 年経過し、老朽化していることから新たに投排雪保守用車を整備するもの。(製造元の製造スケジュールの関係で導入は 2020 (平成 32) 年度を予定)

・主要諸元

走行性能 0 ～ 25km/h (ロータリ-投雪時)、0 ～ 70km/h (ラッセル排雪時)

投排雪量 14,000 m³/h 以上 (ロータリ-投雪時)、100,000 m³/h 以上 (ラッセル排雪時)

・製造価格

300 百万円

(このうち国補助分 1/3 を除く 200 百万円については、平成 29 年度と平成 30 年度における県経営安定基金からの繰入れの残余分のうち、それぞれ 100 百万円を翌年度 (H30、H31) に積立て。)